



神谷 利盛 議員

### 平成31年度予算編成にあたり、補助金等削減の可能性について

※（ ）内の金額は、いずれも平成30年度予算。

**問** 文書管理事業の消耗品費（予算約300万円）100万円程度削減できないか？

**答** 努力して15%程度の削減を目指す。

減を目指す。

**問** 町内会活動事業交付金・同配布物委託料（予算約3,300万円）10%程度削減できないか？

**答** 制度見直しと削減に向けた検討及び調整中。

**問** 市民予算枠事業（予算約4,100万円）10%程度削減できないか？

**答** 平成29年度決算額を前提に、現在関係者と調整している。

**問** ふれあいプラザ管理委託料（予算約2,800万円）2,500万円程度にできないか？

**答** 毎年見直しを行っているが、これ以上は困難。

**問** 地域内分権交付金（予算約4,300万円）が、

平成27年度では約3,800万円の実績あり。平成31年度には4,200万円程度にできないか？

**答** まち協への移譲事業であるため困難。

**問** ふるさと応援事業（予算約1,400万円）平成29年度決算約1,300万円程度にできないか？

**答** ふるさと納税が増加すると、連動して増加する。ふるさと納税を増やすよう努力する。

**問** ジャンボ落花生推進委託料（予算約60万円）は削減可能か？

**答** 平成31年度には予算化しない。

**問** コミュニティビジネス支援委託料（予算約400万円）の成果はあったのか？ また、いつまで続けるのか？

**答** Sの絆焼きを通じて、高校生のスキルアップ、将来地域で活躍する人材の発掘、SBP手法の継続による社会貢献等の成果が見込まれる。来年は継続。平成32年以降はクラウドファンディングによる資金調達を目指し、市の負担を軽減する。この事業は文科省が目指す地域創生事業ということもあり、市は、今後も継続して支援する。

※平成31年度予算は今回の議論を反映し、メリハリのある予算であることを強く要望した。



杉浦 康憲 議員

### 『環境行政』について

**問** 昨年度、ごみ処理全般に要した経費は？

**答** 指定ごみ袋の作成や町内会への分別収集事業支援報償金など、「ごみ減量リサイクル推進事業」として3,877万2,704円。一般廃棄物収集運搬及び資源ごみ

分別収集運搬業務委託料などの「ごみ収集運搬業務等委託事業」が2億1,637万2,774円。衣浦衛生組合分担金などの「ごみ処理事業」は、4億7,577万6,238円で、本市のごみ処理全般に係る経費は、合計で7億3,092万1,716円です。

**問** 分別収集した資源ごみの売却益や、指定ごみ袋の販売金額などの歳入は？

**答** 平成29年度の決算額で、資源ごみ分別収集で回収した、びん類や缶類、紙類、ペットボトルなど、売却による収益金が1,071万247円。不足した指定ごみ袋の販売額が3,109万9,600円。合計で、4,180万9,847円となります。

**問** さらなるごみ減量のために、ごみ袋の無料配布の中止を考えているようですが、現在、愛知県下で無料配布をしている自治体は？

**答** 碧南市と高浜市の2市のみです。

**問** 資源ごみ収集拠点場所数や、立つ時間、人数、回数など、行政から取り決めがあるのか？

**答** 拠点数や立つ時間、人数、回数などの開設や運営方法は、町内会で決定していただきます。具体的には、芳川町では7時から30分間としたり、新田町では第1週と第4週、清水町では第2週と第3週の月2回に、資源ごみ分別収集拠点の開設回数を減少しています。加入世帯数の減少や高齢化、共働き世帯の増加などの課題が生じている中、地域の実情に即した分別収集拠点の立ち番や運営方法について、創意工夫をして継続してもらいたい。

**問** 町内会が苦慮している、「資源ごみ分別収集」の立ち番などの改善につながるような支援策を検討してもらいたいのですが。

**答** 町内会のご意見もいただきながら、支援策や支援金額について調整をし、町内会や町内会員の皆様の協力に対して、少しでも還元できるような支援策を考えていきます。